

# 宮城県感染症発生動向調査情報

平成27年8月20日発行

— 2015.8.10 ~ 8.16 ・ 第33週 —

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	患者数	累計	第30週	第31週	第32週
水痘	8 1.60				1 0.33	2 0.40	1 0.50	6 0.22	18 0.31	1,088				
流行性耳下腺炎				1 0.50				6 0.22	7 0.12	253				
百日咳														
感染性胃腸炎	25 5.00	14 1.40	11 2.20	17 8.50	13 4.33	4 0.80		36 1.33	120 2.03	14,426	○	○	○	○
手足口病	35 7.00	89 8.90	94 18.80	34 17.00	50 16.67	128 25.60	8 4.00	186 6.89	624 10.58	5,738	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑	2 0.4	1 0.10	1 0.20			1 0.20		1 0.04	6 0.10	1,445	レ			
突発性発しん	1 0.20	4 0.40	5 1.00	1 0.50	2 0.67	3 0.60	1 0.50	14 0.52	31 0.53	1,224	レ	○	○	○
ヘルパンギーナ	18 3.60	25 2.50	9 1.80	15 7.50	28 9.33	21 4.20	3 1.50	37 1.37	156 2.64	1,186	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ														
咽頭結膜熱	1 0.20	4 0.40		1 0.50		8 1.60		3 0.11	17 0.29	965	レ	○	○	レ
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.17	2 0.17	124				
急性出血性結膜炎														
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14 2.80	8 0.80				12 2.40		13 0.48	47 0.80	5,016	◎	◎	◎	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)														
無菌性髄膜炎														
マイコプラズマ肺炎				1 1.00		1 1.00	5 5.00	1 0.20	8 0.67	232				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)														
RSウイルス感染症	3 0.60	1 0.10						7 0.26	11 0.19	391				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)										76				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		2	1		1			1					
	川崎病	1							1					
	不明発疹症		1						7					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意  
○: 発生または流行について、今後の情報に留意  
レ: 発生が少なくなっている傾向

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 男性1名  
栗原管内 男性1名(第32週)  
石巻管内 男性1名  
仙台管内 男性2名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

登米管内 男児\*1名、男性1名、女性1名

腸管出血性大腸菌感染症(O26)  
塩釜管内 女性1名(第27週)  
腸管出血性大腸菌感染症(O18)  
塩釜管内 男性1名(第27週)

腸管出血性大腸菌感染症(O55)  
登米管内 女児\*1名  
腸管出血性大腸菌感染症(OUT)

4類感染症: レジオネラ症(肺炎型)

登米管内 女性1名  
仙南管内 女性1名  
石巻管内 男性1名  
仙台管内 女性1名

5類感染症: アメーバ赤痢

仙台管内 男性1名、女性1名  
水痘(入院例)  
仙台管内 女性1名

\*男児、女児は6歳未満

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

### 【定点把握対象疾患】

[手足口病]

仙南、塩釜、大崎、栗原、登米、石巻、仙台管内で警報継続中

[ヘルパンギーナ]

仙南、登米管内で警報継続中  
栗原管内で警報値を超えた

[咽頭結膜熱]

石巻管内で警報継続中

## 【病原体検出情報】

### ～宮城県保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より

登米管内のO157関連 第32週採取分 O157 2件  
第33週採取分 O157 1件  
登米管内 第32週採取分 O55 1件

### ～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定		
	第30週採取分 (7.20～7.26)	中間 第31週採取分 (7.27～8.2)	報告 第32週採取分 (8.3～8.9)
インフルエンザウイルスA(H3)型	2件	0件	0件
RSウイルス	4件	1件	0件
アデノウイルス	0件	1件	0件
エンテロウイルス	1件	2件	1件
パラインフルエンザウイルス3型	5件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス4型	2件	1件	2件
ヒトタヌキモウイルス	0件	0件	2件

※第30週で分離されているインフルエンザウイルスは海外渡航先(フィリピン)での感染例と思われます。

## 4. 今週のコメント

### 【腸管出血性大腸菌感染症】

ペロ毒素を産生する大腸菌によって引き起こされる感染症で下痢を主症状とします。O157やO26のほかO121やO103など多くの血清型が知られています。夏季の流行期に入り、今週は塩釜、登米管内で患者報告があり、保健環境センターでもO157が検出されていることから今後も注意が必要です。

### 【手足口病】

先週に比べ患者報告数は減少しましたが、気仙沼管内を除く全ての管内で警報値を超えており、引き続き注意が必要です。

### 【ヘルパンギーナ】

今週、仙南、登米管内に加え栗原管内でも警報値を超えました。患者報告数は減少しましたが、十分注意が必要です。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)  
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362  
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

